

地道な努力を続けよう！

茗溪塾塾長 長谷誠基

11月に入りだいぶ涼しくなってきました。10月の末には小6の全校合同特訓があり、中学受験コースは理科社会の時事問題について学習しました。今年もいろいろなことがありましたが、普段から世の中で起きていることに関心を持ち家庭で会話があると、生徒達も子供なりにいろいろなことを考えるようになります。時にはこちらが「はっ！」とするようなことを言ったりもするので、そういう発言を聞くと精神的な成長を感じます。時事問題は入試にテーマとして出ることが多いので、そのテーマに関わる理科や社会の内容を学習することが重要になります。今回学習したことは特に注意してほしいテーマですので、何度も繰り返して覚えてください。公立一貫コースでは作文を書きましたが、まだまだ具体例の入れ方が十分ではない子が多く見られました。実際の自分の体験だけでは不足することも多いので、そういう場合は模範解答例もしっかり読んで、自分の体験としてしまうことも重要です。次に同じような出題だったときはマネして書くことから始めてみてください。

今月は他にも中学生は定期試験があり、東京都の中3生はスピーキングテストもあります。その対策もしなければならぬし、模擬試験もあり、志望校も決めなければならぬと、非常に大変な1カ月です。焦ってもしょうがないので目の前のことを1つ1つ片付けていきましょう。定期試験の学習は塾の復習になるはずなので、受験勉強の一環としてその単元を身につけるつもりで取り組みましょう。志望校はおそらく定期試験の結果で内申が決まらぬと確定しないこともあります。ですから、あれこれ悩むよりもまずは勉強して点数を取ることに集中しましょう。スピーキングテストも結局はリスニングの練習にもなります。1つも無駄なものはありませんので、手を抜かずに取り組んで下さい。

また、この時期はあまりにもやることが多くて、悩むこともあると思います。そのときに効率を考えるあまり、学習のレベルを落としてしまうことにならないように注意してください。実力を上げる勉強はどうしても時間がかかり、「どうして思った通り進まないんだろう？」と考えてしまうこともあります。しかし、勉強に楽な道はありません。遠い昔の話ですが、ある国の王子が王になるための勉強の大変さのあまり、家庭教師の先生に「もっと簡単にできる方法はないのか？」と聞いたそうです。それにたいして、家庭教師は「学問に王道なし。」と言って、地道な努力が必要なことを諭したそうです。その家庭教師こそあの有名なユークリッドです。2000年以上も前から人の悩みは同じなのですが、解決は結局1つ1つやり切っていくしかないのです。時間を見つけて取り組んでいきましょう。